

2) ライム・ソー

(1) 用途

本来は石灰散布を目的とした施肥機であるが、石灰のほか、溶燐などの土壌改良剤や化成肥料の散布にも使用される。

(2) 構造

石灰などを地上の低い位置から条状又は広幅状に施用するのに用い、散布幅が一定しており、また、落下口が地面に近いので飛散しにくい特徴がある。構造は、横長のホッパー、攪拌・繰出装置、シャッター、落下口、動力伝達装置などからなる。トラクターの搭載型とけん引型がある。けん引型は、トラクターのヒッチでけん引し、攪拌装置は車輪で駆動するもので、路面の状態によってスリップの影響を受けやすい。搭載型は3点リンクに取付け、油圧で上下でき、攪拌繰出装置はPTO等で駆動するものである。

(3) 取扱い上の留意点

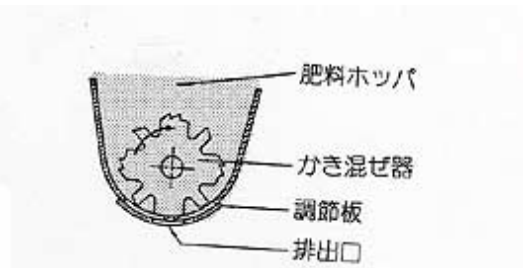
湿度の高い時などには肥料は溶けて固まり易く、作業ができなくなることがあり、また、ホッパーに入れたままほ場まで運搬すると固まるので注意する。使用後は肥料をきれいに洗い流しておく。なお、散布量は、走行速度、肥料の種類、シャッターの開度などによって変化するので適正に調節する。

(4) 安全作業のポイント

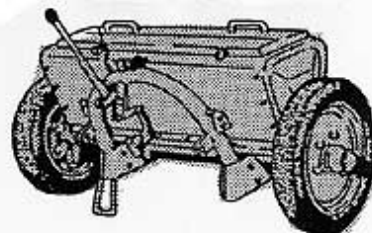
- ① トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。
- ② PTO軸や可動部のカバーは常に所定の位置に付けておく。
- ③ 点検・調整・修理あるいは詰まり除去は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。
- ④ 着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。
- ⑤ 始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。
- ⑥ 移動時には他車との追突や接触に注意す

る（予防対策として反射材などを活用する）。

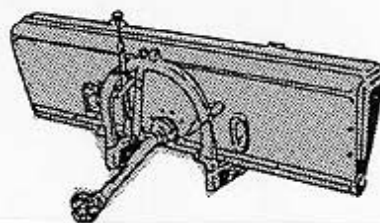
- ⑦ 補助作業者を含めてPTO軸や回転部への巻込まれに注意する。



肥料繰出し装置



トラクターけん引型（接地車輪駆動型）
ライムソー



トラクター搭載型ライムソー
(PTO 駆動)